

(様式1)

学校番号 (小・中 045)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(葵が丘小) 学校運営協議会長

<本年度の目標>

- 『子供の主体性の育成』に向けたその導き方や学校の抱える課題解決への方策など、学校構想の実現に向けて、委員間で活発な意見交換を交わし、より充実した熟議を行う。
- 第一期に確立された組織を生かしながら、学校教育目標の実現に向けた取組の様子や思い等を保護者や地域にもっと周知してもらえるような情報発信の工夫や強化を図る。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒  ア よくできた    イ できた    ウ あまりできなかった    エ できなかった  
(理由)

- 校長から学校方針について分かりやすい説明を受けたことで、より学校運営に理解が深まり、あらゆる観点から活発な意見交換ができた。
- 二期目がスタートし、ベテラン委員の熱心で活発な発言に加え、新委員と新たな視点からの意見交換ができ、より充実した熟議ができたと思う。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒  ア よくできた    イ できた    ウ あまりできなかった    エ できなかった  
(理由)

- 二期目に入り、委員の学校運営への理解も更に深まり、学校支援コーディネーターを中心に保護者・地域が一体となって支援する活動について熟議を進めることができた。
- 学校・地域・学校支援コーディネーターの視点から様々な意見を聞き、充実した熟議を行うことができた。学習活動において、子供たちが主体性を持ち行動する姿が多く見られ、一年を通して子供たちの成長を感じることができた。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った     イ 行った    ウ あまり行わなかった    エ 行わなかった  
(理由)

- さくら連絡網や学校ホームページでの情報発信により、保護者の理解が深まり、行事への参加が増え始めたように思う。しかしながら、地域との関係性はまだ不十分だと感じるため、地域への情報発信のあり方については検討していかなければならない。
- インターネットや紙媒体で情報発信をしたことで、徐々にではあるが保護者や地域の理解を得られ協力体制が確立したように思う。

<評価項目4> 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

- 「コミュニティ・スクール」が保護者・地域に浸透し始めたように思うが、学校支援に関しては、まだ協力を募る必要がある。また、さらに多くの方に学校運営の基本方針を理解していただくためにも簡潔にまとめる必要があると考える。来年度に向けて、学校運営についての情報発信・地域の方々とのネットワークの充実を図りたい。
- 目標とする「主体性の育成」を更に発展させるためにも、コミュニケーション能力の向上が大切であると感じる。多様な文化的背景を持つ児童も多くいる環境の中で、お互いを理解し主体的に交流できる環境を学校・地域が一体となり構築できるよう努めたい。